



地域のみんで農地や水路をまもりましょう！
 多面的機能支払交付金をつかって！

多面的機能支払交付金とは？

地域の皆様で行う農地や水路の管理活動に活用できる農水省の交付金制度です。交付金は、国・県・市町村で負担し、市町村から活動組織へ交付されます。春日部農林振興センター管内では、現在9市町で53活動組織が交付を受けており、対象となる農用地面積は約1000haになります。

どんな活動が対象？

「農地維持支払」と「資源向上支払」の二つのメニューがあります(左図)。市町村の認定を受けること5年間交付されます。5年間活動後、さらに5年間ずつ継続が可能です。

【お問合せ】

整備支援・管理担当
 ☎048-737-2112
 または各市町農政担当課

基本 みんなで水路の草刈りなどの活動をする「農地維持支払」

★ 交付単価は (年) ★ こんな活動が対象

区分	田	畑
10aあたり	3,000円	2,000円

- ・ 農道・水路法面の草刈り
- ・ 水路の泥上げ
- ・ 農道の路面維持 など

オプション 軽微な補修や植栽などの活動をする「資源向上支払」

★ こんな活動が対象

- ・ 水路、農道等の軽微補修
- ・ 植栽による景観形成
- ・ 地域住民との交流活動 等

※農地維持支払に加えて交付金が交付されます。
 ※但し、農業者以外の参加が必要。

水路の目地詰め (吉川市内)



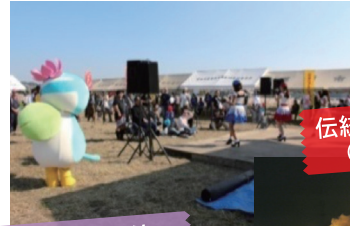
伝統行事 虫追い (越谷市内)



植栽 (春日部市内)



農村まつり (蓮田市内)



なし樹体ジョイント仕立て栽培研修会を開催！

春日部農林振興センターでは、管内でなし樹体ジョイント仕立て栽培に取り組んでいる生産者向けに、久喜市で栽培管理の方法について栽培研修会を開催しました。

県農業技術研究センターの協力を得て、収量や果実糖度についての情報提供を行いました。

また、接木後10年を経過した成園の樹における樹勢コントロールについて、研究の成果を説明しました。

今後栽培管理における省力化・効率化等技術の支援を行い、県内でも有数の産地である埼玉地域のなし生産の拡充を図っていきます。



▲研修会の様子 (H29.11.20)

なし樹体ジョイント仕立て栽培とは？

なし栽培は、せん定等作業に高度な技術を要し、労働時間短縮や規模拡大が困難であることが課題となっています。そこで、複数の樹の主枝部分を繋げる栽培方法をとることで、直線的な樹形をつくり、作業を直線的に行えるようにして労働強度の軽減を図ります。

受粉、摘果、せん定等作業の省力化と簡略化が図れ、作業時間を短縮できる技術です。栽培管理の省力化だけでなく、収穫開始までの期間が短縮されることも、メリットの一つです。これからのなし生産を支える技術として期待されています。

▲開花の様子



【お問合せ】
 技術普及担当
 ☎048-737-6311